

平成29年度学校評価シート（自己評価）

菩提樹の森 幼稚園

1、園の教育目標

仏教の大慈大悲の教えを基本に、学校教育法及び幼稚園教育要領に則り、幼児の心身の健全な発達の助長をめざす。

○生命（いのち）を尊重し、正しきを見て絶えず進む子どもを育てる。

○ものごとを自主的、創造的に考えていく子どもを育てる。

○心身ともに健康で、何事も最後までやり遂げる子どもを育てる。

2、具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、園長はじめ幼稚園教諭自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善、施設環境の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
幼小連携の円滑な接続に関する工夫の状況 ①教	A	1月の市内幼小連絡会にて各小学校との園児状況の引継ぎを行った。また、2月下旬に近隣の朝霞第四小学校に学校見学に訪問した。年度末には指導要録の写しの送付を行い円滑な連携を持った。
安全点検や教職員の安全対応能力の向上を図るための取り組み状況 ②安	A	防犯訓練として、埼玉県警に依頼し人形劇や紙芝居を用いて防犯集会をおこなった。集会前に教職員の防犯対応や注意点をご指導いただいた。
学期ごとに各学年クラスの経営の成果と課題を報告する。 ③教	A	各学年クラスで学年主任を中心に学期、月、週案の目標を定め、各学期ごとに達成状況を報告した。
学校運営のための諸事務等の情報化の状況 ⑤組	B	幼稚園業務のIT化による、業務合理化を図りたいが、適切なソフトやアプリケーションを選択することができず、次年度への課題である。
保護者を対象とするアンケートの結果 ⑨保	A	9割が概ね満足のいく幼児教育や幼稚園運営ができている回答。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	全ての項目で評価項目を実施することができた。幼稚園事務の IT 化は次年度以降への課題としたが、ソフトのリリースもほぼ終了し導入時期を検討中である。 今年度の評価をふまえて、次年度以降の課題に繋げていくことが重要である。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園庭遊具の拡充と遊具用具の活用再確認①教	園庭の大型遊具を設置して、15 年以上後経過している。腐食などの劣化は見られないものの、幼児の身体的知育的助長を図るためには新たな大型遊具の設置が必要だと考える。また、導入に伴い教育的活用方法について再確認する
指導要録作成など園児管理業務の IT 化⑫教環	園児管理や幼稚園配布物、緊急時のメール配信などの IT 化はされているが、個別のソフトを採用しているため、業務が統一化されていない。出欠席、指導要録などの業務合理化のために更なる IT 化はかる
保護者会活動の改善⑨保	共働きの増加傾向の中、保護者会の執行部のなり手が少なくなっている。負担のない保護者会運営や、やりがいの有る保護者会運営が行われるよう、園として積極的に関わっていく。
新教育要領に向けての教職員研修⑥研	園内外の研修会に積極的に参加。周知徹底を図る
園児の視診方法の再確認と予防対策②保	教職員の園児の視診方法について再確認し、園医などの指導を仰ぎ統一した視診方法を元に園児の健康維持管理を行う。また、手洗いうがいの方法の再確認を行い、昼食後の口腔衛生を考える
自己評価をふまえた上での学校評価の再確認	自己評価をふまえた学校関係者評価の公表に向けて意見交換を行う